

令和8年度 但馬県民局主要施策 (地域躍動推進費予算案)

令和8年2月 但馬県民局

令和8年度但馬県民局予算(案)の基本方針

豊かな自然、多彩な農林畜水産物に恵まれ、特色ある地場産業が根付き、受け継がれてきた伝統・文化に新しい息吹が融合する但馬地域において、3つの方針「多様な地域資源を活かした経済の活性化」「安全・安心で人と自然にやさしい生活環境の構築」「次世代につなぐ人づくり・地域づくり」を軸に施策を展開し、誰もが”住んでみたい 暮らし続けたい”と思う但馬の実現を目指す。

◎3つの重点項目

I 多様な地域資源を活かした経済の活性化

(予算額 82百万円)

⇒No.4～No.8



II 安全・安心で人と自然にやさしい生活環境の構築

(予算額 9百万円)

⇒No.9～No.11

III 次世代につなぐ人づくり・地域づくり

(予算額 46百万円)

⇒No.12～No.14

[予算額計 137百万円 (対前年比95.8%)]

令和8年度但馬県民局施策体系

※は本庁予算事業

I 多様な地域資源を活かした 経済の活性化

〈観光・交流による魅力発信と まちの活性化〉

- 但馬の多彩な観光資源の魅力発信
 - ・観光資源の魅力発信
 - ・二次交通の発展・充実
- 新 フィールドパビリオンを活用した地域活性化の推進
- 山陰海岸ジオパークエリア活性化の推進
- 「鉱石の道」を活用した地域活性化の推進

〈山・海・里の恵みを活かした 農林畜水産業の振興〉

- 拡 つながるたからじま農のブランド化推進事業
 - ・コウノトリ育む農法の拡大
 - ・但馬牛の生産基盤強化
 - ・但馬ブランド農産物の総合展開
- 拡 新規就農者の確保と定着の推進
- 拡 スマート農業技術の確立・定着・拡大
- 拡 但馬材素材生産強化・向上
- 拡 但馬水産業の持続的発展に向けた取組

※ 高規格道路ネットワークの整備(土木部)

〈地域産業の活性化と雇用確保〉

- 但馬産業活性化の促進
- 拡 「但馬で働く」大作戦の推進
 - ・児童、生徒に向けた情報発信事業
 - ・外国人材雇用支援研修の実施
- 拡 新規就農者の確保と定着の推進(再掲)
- 但馬材素材生産強化・向上(再掲)
- 但馬水産業の持続的発展に向けた取組(再掲)

II 安全・安心で人と自然にやさしい 生活環境の構築

〈災害に強く、誰もが暮らしやすい 生活基盤の整備〉

- 拡 地域防災力の強化
 - ※ 但馬の住まいの耐震化促進(まちづくり部)
 - ※ 日本海津波対策の推進(土木部)
- 拡 但馬地域鉄道利用の促進

〈地域医療・福祉の充実と 共に支え合う社会づくり〉

- 「ロジックモデルを用いた保健医療計画」の推進
- 社会的処方及び重層的支援体制の整備による
地域共生社会の推進に向けた取組
- 高齢者のニーズに応じた社会参加の場づくり

〈人と自然が共生する但馬〉

- コウノトリも棲める郷づくりの推進
- ラムサール条約湿地を活用した環境学習事業
- クリーン但馬10 万人大作戦の推進
- 但馬の自然環境の
保全と復活・再生に向けた支援
- 拡 野生鳥獣対策の推進

III 次世代につなぐ人づくり・地域づくり

〈未来を担う人材の 移住・定住の仕組みづくり〉

- 但馬U・Iターン400人大作戦の展開
- 拡 「但馬で働く」大作戦の推進(再掲)
- 拡 新規就農者の確保と定着の推進(再掲)
- 但馬材素材生産強化・向上(再掲)
- 但馬水産業の持続的発展に向けた取組(再掲)

〈但馬らしいコミュニティ形成〉

- 新 但馬の若手をつなぐプラットフォーム
「TJMつながりLab」の設置
- 地域活動応援事業の推進
- 地域の見守り力アップ作戦
- 県民局広報・広聴の推進

〈郷土愛を育む歴史・文化・芸術の 振興と活用〉

- 専門職大学等と連携した芸術文化振興の推進
 - ・豊岡演劇祭2026への支援
 - ・芸術文化施設・イベント情報発信事業
- 但馬の歴史と物語を生かした新しいまちづくり
- 豊岡復興建築群の魅力発信
- 但馬地域ビジョン2050 の推進

住んでみたい 暮らし続けたい 但馬

多様な地域資源を活かした経済の活性化



観光・交流による魅力発信とまちの活性化

拡 1 但馬の多彩な観光資源の魅力発信

(1) 観光資源の魅力発信

(20,512千円)

- ア 観光コンテンツ磨き上げ・誘客促進支援
- イ インバウンド向け商談会への出展
- ウ 但馬ツーリズム情報の発信
多様な媒体を用いた情報発信、インフルエンサー等を講師としたSNS情報発信力強化セミナーの実施

(2) 二次交通の発展・充実

観光地をバスで周遊する「たじまわる」の運行支援

新 2 フィールドパビリオンを活用した 地域活性化の推進 (3,315千円)

(1) 播但貫く、フィールドパビリオン 「周遊型・謎解きスタンプラリー」（仮称）の開催

但馬・中播磨地域で広域的に周遊してもらうデジタルスタンプラリーを実施、スタンプ獲得数に応じて抽選で地域の特産品を贈呈

(2) フィールドパビリオン情報発信イベントの実施

(3) フィールドパビリオン つながりミーティングの開催

異業種のフィールドパビリオンが互いに連携し、高め合い、情報共有するための場づくりを行い、持続的発展に向けた交流を促進



3 山陰海岸ジオパークエリア活性化の推進

(11,340千円)

- (1) 山陰海岸ジオパーク推進協議会への支援
- (2) 山陰海岸ジオパークの受入環境充実の推進

大地の成り立ちなどを感じられるジオサイトを訪れる観光客等の受入環境を充実させるための看板等を設置し、山陰海岸ジオパークの魅力を国内外に発信

4 「鉱石の道」を活用した地域活性化の推進

(4,200千円)

(1) ガイド人材の発掘・育成

日本遺産の魅力を伝えるガイド人材を発掘・育成するため、住民を対象とした講座や現役ガイドとの交流会等を開催

(2) 「鉱石の道」の魅力強化

来訪者のエリア内周遊の促進と観光消費額の増加を図るため、地域団体等が実施する体験コンテンツの造成や商品開発等の鉱石の道の魅力を向上させる取組への支援



神子畠選鉱場跡

(3) 地域団体への活動支援

鉱石の道に関するイベントや郷土学習の実施を支援

Ⅰ 多様な地域資源を活かした経済の活性化



山・海・里の恵みを活かした農林畜水産業の振興

拡 1つながるたからじま農のブランド化推進事業

(15,167千円)

(1) コウノトリ育む農法の拡大

ア 栽培・施肥体系の確立等技術的課題の解決

新(ア) 省力追肥資材の効果実証

高温による未成熟米発生への対策、収量向上のための追肥を省力的に実践する技術を確立するための実証調査

(イ) 除草作業効果向上技術の開発

新(ウ) 水管理システム利用による品質向上の実証調査

高温障害を回避するための精緻な水管理を省力的に実践するため、自動で給水・水位調整ができるシステムの試験導入・実証調査

新(イ) 多収量コンテスト開催を通じた技術の向上・普及
多収生産技術を競い、優れた生産者を表彰することで、生産技術のさらなる向上と産地全体への普及を進める。

イ 育む農法の取組拡大への支援

(ア) 栽培面積拡大のための生産条件整備

栽培面積を拡大する生産者に対し、拡大面積に応じて掛けり増し経費を助成

新(イ) 収量・品質向上のための生産条件整備

追肥や除草など、収量や品質向上のために追加的に行う作業のスマート化とアウトソーシングの促進のため、これに取り組む生産者に対し実施面積に応じて外注経費を助成



(2) 但馬牛の生産基盤強化

ア 繙承者の確保に向けた受け入れ態勢整備

イ 耕畜連携流通システムの確立

ウ 世界農業遺産「美方郡産但馬牛」のPR・認知度向上

新(ア) ウェブサイトやSNSによる情報発信
(「美方郡産但馬牛」世界・日本農業遺産推進協議会事業)

新(イ) 市民講座の開催

(「美方郡産但馬牛」世界・日本農業遺産推進協議会事業)

新(ウ) ランドマークとしての「見える放牧場」の整備

(イ) 但馬牛PRイベントへの支援

(3) 但馬ブランド農産物の総合展開

ア 他産地との差別化に向けたPR

(ア) 販売店でのPR、地元での特設販売等(なしおとめ、美方大納言小豆)

(イ) 展示会出展等への補助(朝倉さんしょ)

イ 生産安定・多収化・コスト低減に向けた技術開発と普及

(たじまピーマン、なしおとめ、美方大納言小豆、朝倉さんしょ、岩津ねぎ等)

ウ 作付拡大への支援

(ア) 新規栽培等への経費補助(たじまピーマン、なしおとめ)

(イ) 技術習得への支援(なしおとめ、朝倉さんしょ)

(ウ) 優良種子確保への経費補助(美方大納言小豆)

(イ) 苗木増産への経費補助(朝倉さんしょ)

エ 有機農産物の生産拡大への支援

多様な地域資源を活かした経済の活性化

山・海・里の恵みを活かした農林畜水産業の振興

拡2 新規就農者の確保と定着の推進

(1,256千円)

就農希望者の呼び込みから技術習得、就農、移住に至るまで、県民局、但馬5市町、JAたじまが一丸となって「たじま新規就農者確保戦略会議」を設置、オール但馬で総合的できめ細かなサポートを実施

新(1) 会議構成機関との連絡調整、外部の機関との連携調整 (但馬県民局)

(2) 「就農・定着応援プラン」の作成 (市町、農業改良普及センター、JAたじま)

新(3) たじま就農サポーター（外部人材）による 情報発信と就農相談、支援

ア 情報発信力のある外部人材をインフルエンサーとして登用、SNS等を通じて産地や地域の魅力や就農イベント等の情報を発信
イ 地域の農業経営士や行政・JAのOBを就農相談員として登用、就農イベント等における就農希望者の発掘・応談、インターンシップや研修受講の斡旋、受入集落等の仲介など、就農するまで寄り添いサポートする。

(4) 就農体験会の実施

(5) 技術研修機会の提供（各市町による現行事業）

(6) 地域就農支援センターによる独立就農支援 (県・市町、JAたじまによる現行事業)

(7) 地域を担う人材育成講座の開催



拡3 スマート農業技術の確立・定着・拡大

(5,150千円)

(1) スマート農業技術の実証調査

- ア 正条田植機活用による機械除草の効率化
- 新イ ICT水管理システムによる米の品質低下防止
- ウ ドローン直播栽培の生産安定化
- 新エ スマート農機を活用した岩津ねぎ栽培の省力化
- 新オ 水稲栽培におけるドローン活用による省力化
- カ センシングデータの活用による施肥作業の最適化
- 新キ 多機能自動給水栓の活用による水管理の省力化

(2) スマート農業技術の普及促進

- 新ア 追肥・除草作業のスマート化とアウトソーシングの促進
コウノトリ育む農法において、追肥や除草など、収量や品質向上のために追加的に行う作業のスマート化とアウトソーシングの促進のため、これに取り組む生産者に対し実施面積に応じて外注経費を助成

- 新イ ドローン直播栽培に対応したほ場の条件整備
田面の不陸が大きく水稻の直播栽培に支障が生じているほ場に対して、必要な均平度を確保するための低コストな不陸修正工法を開発

多様な地域資源を活かした経済の活性化



山・海・里の恵みを活かした農林畜水産業の振興

拡4 但馬材素材生産強化・向上

(1,700千円)

(1) 但馬型主伐・再造林モデルの実証

新ア 収益性の向上と鳥獣被害対策を考慮した新たな造林樹種の検討
 イ ドローンを活用した保育作業省力化の現地実証
 ウ 奥地伐採に適応した作業システムの導入検討

(2) 資源循環型林業を担う人材の確保

ア 県立高等学校等における出前講座の実施
 イ 高性能林業機械等が活躍する最新の現場での体験・見学会の実施

(3) 但馬材の販路拡大及び利用促進

ア 但馬材の海外輸出促進に向けた商社等流通関係者との情報交換会の開催
 イ 県産材合板の供給拡大に向けた検討

拡5 但馬水産業の持続的発展に向けた取組

(13,917千円)

(1) 但馬の水産物の認知度向上と需要の取込・拡大

(2) 但馬産水産物の提供体制の整備

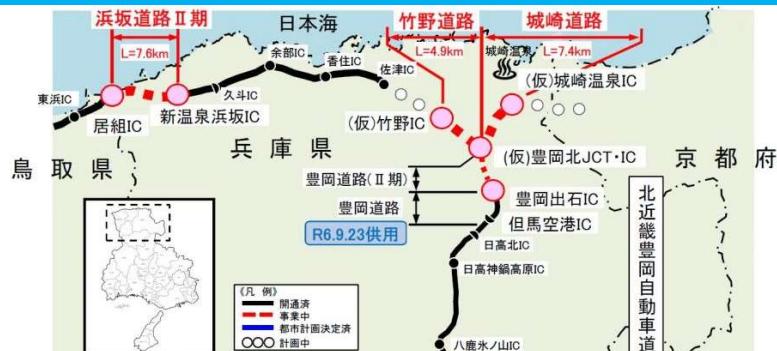
ア イカ類の試験操業・資源調査
 イ ムラサキウニの採取・駆除
 新ウ 海洋環境の変化に対する新たな漁法の導入
 海水温上昇などの環境変化により、キジハタの増殖やクロマグロの来遊など、沿岸の魚類構成が変化していることに対応する新たな漁法の研修と導入実証を支援

(3) 沖合漁業船員の育成・定着の促進

ア 新規就労者獲得のためのPR活動
 イ 就労希望者向け現場研修実施

高規格道路ネットワークの整備（土木部）

- 北近畿豊岡自動車道の整備促進
- 山陰近畿自動車道の整備推進



Ⅰ 多様な地域資源を活かした経済の活性化



地域産業の活性化と雇用確保

1 但馬産業活性化の促進

(1,109千円)

拡

(1) 支援団体等の人材交流・連携強化事業

地元企業への支援を強化するため、商工会議所・商工会等支援団体が合同で行う販路拡大等のための勉強会や先進地視察などの取組を支援

(2) 但馬産業大賞による企業顕彰事業

但馬地域の様々な分野で地域産業の活性化に貢献した企業等を顕彰・発信し、受賞企業はもとより地域企業の更なる発展を促進

2 「但馬で働く」大作戦の推進

(2,796千円)

(1) 児童・生徒に向けた情報発信事業

- ア 但馬企業研究会の開催
- イ 但馬地域就職情報サイト「たじまが好き。」の運営
- 新 (ア)小学生向け就業体験情報の発信
 - (イ)高校生等向け就職情報の発信
- ウ 大学生等向け企業情報の発信



(2) 外国人雇用支援研修の実施

外国人の労務管理の方法や職場への定着、トラブル防止等に向けた研修を実施

3 新規就農者の確保と定着の推進（再掲）

就農希望者の呼び込みから技術習得、就農、移住に至るまで、県民局、但馬5市町、JAたじまが一丸となって「たじま新規就農者確保戦略会議」を設置、オール但馬で総合的できめ細かなサポートを実施

4 但馬素材生産強化・向上（再掲）

資源循環型林業を担う人材の確保

- ア 県立高等学校等における出前講座の実施
- イ 高性能林業機械等が活躍する最新の現場での体験・見学会の実施

5 但馬水産業の持続的発展に向けた取組（再掲）

沖合漁業船員の育成・定着の促進

- ア 新規就労者獲得のためのPR活動
- イ 就労希望者向け現場研修実施



II 安全・安心で人と自然に やさしい生活環境の構築



災害に強く、誰もが暮らしやすい生活基盤の整備

拡 1 地域防災力の強化

(437千円)

「防災拠点を開けてみよう！

備蓄・資機材を使った実践講座」(仮称)の実施

地域防災において中心的な役割を担っていく方を対象に、但馬広域防災拠点に備えられている様々な資機材を知り、その使い方を学ぶための実践的講座を実施

但馬の住まいの耐震化促進（まちづくり部）

(1) 但馬5市町との連携による住宅耐震化の促進

但馬地域の住宅耐震化の促進に向け、県民局と但馬5市町の担当部局が連携・協調し、各市町の補助制度の活用や効果的な普及促進方策を検討

(2) 耐震ワークショップの開催

住宅耐震模型「ぶるる」を活用した耐震ワークショップを「まちづくり出前講座」として実施

(3) 「耐震リフォーム達人塾」の開催

全国で普及が進んでいる安価な耐震工法の講習会を開催

日本海津波対策の推進（土木部）

➤ 切迫する大規模地震による津波に備えるため、発生頻度を踏まえた2つのレベルの津波を対象に、防潮堤の整備など津波対策を計画的に推進

【主な事業箇所】柴山港海岸（香美町） 防潮堤整備

拡 2 但馬地域鉄道利用の促進

(540千円)

(1) アクションプログラムの着実な推進

- ア 交流人口の拡大による利用促進
(駅前レンタサイクル補助・フォトコンテスト)
- イ 利用意識の醸成
(但馬地域公共交通フォーラム)

新 (2) 余部鉄橋保存・活用の検討（土木部）

有識者、地元関係者、鉄道事業者、行政で構成する検討会において、余部鉄橋の修繕方法や工事中の観光利用など保存・活用方策を検討

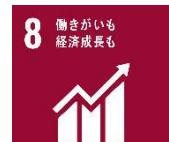
(3) 但馬地域における鉄道の魅力発信による利用促進

- ア 車両基地見学会の実施
- イ 余部鉄橋修繕見学会の実施



車両基地見学会の様子

II 安全・安心で人と自然に やさしい生活環境の構築



地域医療・福祉の充実と共に支え合う社会づくり

1 「ロジックモデルを用いた保健医療計画」 の推進 (111千円)

但馬圏域の効率的かつ質の高い医療提供体制を確保するため、病院間連携のための協議、医療機関による自主的取組への支援



やさしい医療計画
(第8次兵庫県保健医療計画
但馬圏域概要版)

2 社会的処方及び重層的支援体制の整備 による地域共生社会の推進に向けた取組

(272千円)

医師等の医療機関への働きかけや、市町の重層的支援体制整備の実施の推進

3 高齢者のニーズに応じた社会参加の場づくり

(988千円)

令和7年度に実施したニーズ調査を踏まえ、モデル地区を選定、実施に向けた検討を行う。元気高齢者を含めた地域住民や企業とも協働しながら高齢者になっても活動できる多様な社会参加の場をモデル的に創設



II 安全・安心で人と自然に やさしい生活環境の構築



人と自然が共生する但馬

1 コウノトリも棲める郷づくりの推進

(1) コウノトリ野生復帰の環境整備

- ア コウノトリ野生復帰推進連絡協議会の開催
- イ コウノトリ営巣用人工巣塔設置への支援

(2) コウノトリ野生復帰PR事業の推進

(887千円)



2 ラムサール条約湿地を活用した環境学習事業

(2,588千円)

- (1) 田結湿地等の調査・保全活動
- (2) 活動発表会の開催

3 クリーン但馬10万人大作戦の推進

(858千円)

- (1) 地域住民と一体となった不法投棄防止対策の推進
- (2) 海岸漂着ごみ対策の推進



住民等による清掃活動

4 但馬の自然環境の保全と 復活・再生に向けた支援 (1,459千円)

- (1) 環境保全等の活動への支援
- (2) 自然環境再生・啓発事業
- (3) 環境フェスティバルの開催

5 野生鳥獣対策の推進 (430千円)

(1) ツキノワグマ出没対策

- ア 但馬地域クマ対策連絡会議の開催
- イ 緊急対応マニュアルの改訂支援
- 新**ウ ヘイキューブ（乾草飼料）の使用による出没抑止
集落周辺におけるシカ等捕獲わなの誘引餌にヘイキューブ
を使用すること（米ぬかからの切替え）を促進し、クマの
出没を抑止

(2) シカ等の有害鳥獣捕獲強化

- 新**ア 銃猟捕獲班育成研修会の開催
- イ 広域的カワウ捕獲対策



III 次世代につなぐ人づくり・地域づくり



未来を担う人材の移住・定住の仕組みづくり

1 但馬U・Iターン400人大作戦の展開

(9,600千円)

(1) U・Iターン促進拠点

「たじま暮らしサポートBASE」の運営

- ア 専門の移住相談員による住まいや仕事探し相談
- イ WEBや移住イベント等、多様なチャンネルを活用した情報発信
- ウ 移住希望者の要望に対応する「オーダーメイドツアー」
- エ 5市町連携のハブとしての役割

(2) 人材不足分野へのU・Iターン促進

- ア 地元事業者と連携した「たじま仕事×暮らし体験ツアー」
- イ 多様な分野の機関と連携した移住希望者への情報発信

(3) 地域を担う若者のUターン促進

- ア 若者が運営・交流するコミュニケーションメディアの運営
- イ 二十歳の記念無料撮影会の実施

(4) 移住者が移住者を呼ぶ環境づくり

- ア 移住者ネットワーク構築と移住後のフォローアップを強化する移住者交流会の実施
- イ 既移住者に直接会って体験や暮らしを聞く「先輩移住者マップ」の充実

(5) 移住者による空き家活用の促進

- ア 移住希望者への市町空き家バンク物件紹介
- イ 空き家活用に関する事例及び研究に関する講演会の実施
- ウ 空き家の活用促進に向けた情報交換会の開催

拡

2 「但馬で働く」大作戦の推進（再掲）

拡

3 新規就農者の確保と定着の推進（再掲）

4 但馬材素材生産強化・向上（再掲）

資源循環型林業を担う人材の確保

5 但馬水産業の持続的発展に向けた取組（再掲）

沖合漁業船員の育成・定着の促進



移住イベント相談ブース



二十歳の記念無料撮影会

III 次世代につなぐ人づくり・地域づくり



但馬らしいコミュニティ形成

新 1 但馬の若手につなぐプラットフォーム 「TJMつながりLab」の設置

(780千円)

但馬管内の兵庫県職員・市町職員の若手職員(20~30代)によるネットワークづくりを進め、実務者間の情報共有や交流を促進。

意欲あるメンバーが主体的に政策提案やプロジェクト立案に取組、地域に新しい挑戦を生み出すことを目指す。



2 地域活動応援事業の推進 (8,606千円)

但馬地域ビジョン2050がめざす未来の姿「つながる、たからじま～みんなで創るワクワク但馬～」の実現に向け、地域の活性化や課題解決に取り組む団体の活動を支援する。



地域団体によるイベントの様子

3 地域の見守り力アップ作戦

(337千円)

- (1) 但馬の青少年を見守る「ひと声運動」の実施
- (2) 青少年非行に対する地域の危機意識醸成のためのキャンペーン実施
- (3) 適切なインターネット利用への啓発活動

4 県民局広報・広聴の推進

(5,600千円)

- (1)フリーペーパー、SNS（インスタグラム等）を活用した但馬地域の情報発信
- (2)県民だよりひょうごによる但馬地域の情報発信
- (3)デジタルサイネージを利用した動画放映、県政情報の発信 等



III 次世代につなぐ人づくり・地域づくり



郷土愛を育む歴史・文化・芸術の振興と活用

1 専門職大学等と連携した 芸術文化振興の推進 (10,364千円)

- (1) 豊岡演劇祭2026への支援
- (2) 芸術文化施設・イベント情報発信事業

2 但馬の歴史と物語を生かした 新しいまちづくり (5,000千円)

北前船などの海運による商業地として栄え、また天然温泉が湧出する湯治場としてにぎわう新温泉町のまち並み・歴史・文化が融合した効果的な謎解きツアーのプログラムを開発

- (1) 謎解きプログラムの開発**
 - ア 謎解きシナリオの作成
 - イ WEBサイトの作成
 - ウ 謎解きキットの企画設計
(オリジナルポーチ、謎解きマップ、ショップ優待券など)
- (2) 謎解きイベントの運営**
イベントのモデル実施 (モデル実施でキットを無料配布)

3 豊岡復興建築群の魅力発信 (550千円)

- (1) 歴史的価値の普及啓発の支援**
復興建築群の情報発信のため、デジタルマップを提供
- (2) 復興建築群を活用した地域活性化への支援**
復興建築群を活用した地域主体のまちづくり活動を支援するため、スタンプラリーや謎解きツアーの各種コンテンツを提供

4 但馬地域ビジョン2050の推進 (4,397千円)

- (1) 但馬地域ビジョン2050の普及啓発**
 - ア 出前講座の実施
 - イ ホームページによる情報発信・PR
 - ウ 広報推進員の設置
- (2) たじま交流フェスタの開催**
地域の未来を考え話し合う、たじま交流フェスタの開催



兵庫県但馬県民局